

第5回八ッ場ダムモニタリング委員会

議事概要

「第5回八ッ場ダムモニタリング委員会」において、八ッ場ダムに関するモニタリング調査結果、モニタリング調査計画等の審議を行った。

主な審議結果は、以下のとおりである。

- モニタリング調査は計画どおり実施されており、総合的な評価の実施に資する十分なデータが取得できているといえる。
- 水環境の今後の方針については、モニタリング調査で確認された課題をしっかりと把握した上で、将来的に発生しうる事象や気候変動の状況等を考慮して、どういった調査を実施していくかを検討することが重要である。
- 環境の指標となる生物の生息状況の変化について、モニタリング調査終了後も引き続き留意していくことが重要である。
- ダム下流河川におけるアユの成長状況の変化については、水量や水質、餌の状況等、様々な観点からの考察を加え整理することが望ましい。
- フラッシュ放流については、何を目的として実施するか設定することが重要であり、目的に対して効果的な実施時期を検討することが望ましい。
- 外来種や環境保全対策については、周辺自治体との協力関係構築等も含め、今後の維持管理方針について、検討していくことが望ましい。

以 上